

1. 生活ごみ処理（し尿・日常生活ごみ）

災害廃棄物対策の基本方針：現地支援チームを被災地に派遣し、被災市町村のニーズに即してきめ細やかな対応

1. 生活ごみ処理（し尿・日常生活ごみ）

- 職員派遣、現地支援チーム設置、現地状況把握（人材バンクを活用した自治体職員の派遣）
- 避難所の仮設トイレ等からのし尿の回収・搬出
- 生活ごみ、片付けごみ等を処理する処理施設の被災復旧・代替施設の確保

2. 災害廃棄物撤去

- 災害廃棄物の仮置場の確保・設置
- 被災家屋の片付けごみ等の撤去・仮置場への搬出
- 全国の市町村や民間事業者等（D.Waste-net等）の応援による収集運搬支援
- 倒壊家屋等の公費解体の実施
- 被災家屋等からの石綿の飛散・ばく露防止

3. 災害廃棄物処理

- 仮置場からの搬出、処理施設での処理
- 周辺自治体や民間事業者等の受け入れによる広域処理

※ 環境省では、市町村の廃棄物処理施設の災害復旧及び市町村が行う災害廃棄物の処理（収集・運搬・処分等）に対して補助を実施。

災害廃棄物処理の進捗状況（環境省による調整・対応状況等）

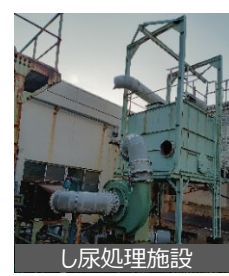
- ・ 災害廃棄物に係る事務連絡について、発災日（7/28）、8/4に、熊本県、長崎県及び鹿児島県に対し発出。
- ・ 7/29より、**環境省職員**（本省課長級以下、地方環境局）のべ**264人・日（8/18は11人）**を、**熊本県庁、宇城市、氷川町及び八代市**を中心に派遣し、仮置場の適正な運営やし尿処理等に係る技術的な助言を実施中。
- ・ 7/29より、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）職員のべ**127人・日（8/18は7人）**を現地派遣し、環境省職員とともにドローンの活用による被害調査支援等を実施。
- ・ 災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）に属する**廃棄物処理団体等**に協力要請し、**7/30より現地派遣**。
- ・ 8/3より、**災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）**から**熊本県庁、宇城市、氷川町及び八代市**に順次派遣。
- ・ 廃棄物処理施設・し尿処理施設の被害は以下のとおり。引き続き情報収集を継続。
一般廃棄物処理施設：通常稼働11施設、点検中4施設 → 現在は、点検中だった全**4施設**が復旧（通常稼働）
し尿処理施設：通常稼働13施設、稼働不可1施設 → 別施設で処理中
- ・ **仮設トイレ等の衛生環境改善**に向け、**し尿回収業者の協力を得た清掃管理スキーム**を内閣府と連携して構築。

<災害廃棄物対策の流れ（イメージ）>

生活ごみ処理



し尿処理



2. 災害廃棄物撤去

災害廃棄物対策の基本方針：現地支援チームを被災地に派遣し、被災市町村のニーズに即してきめ細やかな対応

1. 生活ごみ処理（し尿・日常生活ごみ）

- 職員派遣、現地支援チーム設置、現地状況把握（人材バンクを活用した自治体職員の派遣）
- 避難所の仮設トイレ等からのし尿の回収・搬出
- 生活ごみ、片付けごみ等を処理する処理施設の被災復旧・代替施設の確保

2. 災害廃棄物撤去

- 災害廃棄物の仮置場の確保・設置
- 被災家屋の片付けごみ等の撤去・仮置場への搬出
- 全国の市町村や民間事業者等（D.Waste-net等）の応援による収集運搬支援
- 倒壊家屋等の公費解体の実施
- 被災家屋等からの石綿の飛散・ばく露防止

3. 災害廃棄物処理

- 仮置場からの搬出、処理施設での処理
- 周辺自治体や民間事業者等の受け入れによる広域処理

※ 環境省では、市町村の廃棄物処理施設の災害復旧及び市町村が行う災害廃棄物の処理（収集・運搬・処分等）に対して補助を実施。

災害廃棄物処理の進捗状況（環境省による調整・対応状況等）

- ・ 熊本市では、7/29よりごみステーションにおいて、災害廃棄物の収集を開始。
- ・ 熊本県内**10自治体16か所**※にて、**仮置場を開設中**。※公表箇所に限る
開設中：宇土市、宇城市、美里町、御船町、嘉島町、甲佐町、芦北町、益城町、八代市、氷川町
開設終了：西原村（8/7）、上天草市（8/16）
- ・ 災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）に属する**全国都市清掃会議**に協力要請。
熊本市に岡山市、松山市が、八代市に北九州市、大牟田市、佐伯市、佐世保市、佐賀市が、**ごみ収集車を支援**。
- ・ 住家被害：**33,552棟** ※推計値を含むものであり、今後修正が入る可能性あり。
（うち 全壊 1,515棟／大規模半壊 105棟／半壊 1,425棟／一部破損 13,581棟／分類未確定 16,926棟）
- ・ 損壊家屋等の公費解体・撤去を推進するため、環境省を中心に「**令和8年熊本地震公費解体支援チーム**」を8/7に設置。
- ・ 環境省・熊本県・熊本市が共同で「**災害廃棄物支援調整本部**」を立上げ、被災市町村の人的支援等を調整。
- ・ **緊急公費解体**に係る**通知**について、8/7に熊本県に対し発出。
- ・ 8/10に被災市町村向けに**災害廃棄物処理に係る補助金説明会**を開催。
- ・ 8/11に被災市町村向けに**災害廃棄物処理に係る補助金**に関する**オンライン相談窓口**を開設。
- ・ **八代市、氷川町**において**緊急公費解体**を開始。

<災害廃棄物対策の流れ（イメージ）>

片付けごみ処理



直接持込み



搬出

解体・撤去



搬出

熊本県内の仮置場設置状況 (令和8年8月19日10時時点)

■ 8月19日時点で、熊本県内10自治体で16か所※で仮置場を開設中。

市町村名	仮置場名	受入期間
宇城市	豊川グラウンド、稲川グラウンド、旧豊野小、三角B&G	8/8~9/30 (一部~8/30)
宇土市	宇城広域連合環境再生センター-KIREKA、カネムラエコワークス、(有)CSネットワーク※	8/8~9/30※
宇城市・宇土市	宇城クリーンセンター災害廃棄物仮置場	7/31~8/7
八代市	八代市水処理センター西側、鏡支所駐車場	8/3~12月末 (一部8/10~)
益城町	旧中央小学校跡グラウンド	8/3~9/11
氷川町	竜北グラウンド駐車場	8/3~未定
嘉島町	くまトヨスポーツパーク西側駐車場及び広場	8/1~8/31
上天草市	松島総合センターアロマ駐車場、串漁港	7/31~8/16
美里町	美里町農山村広場	7/31~8/30
御船町	御船町町民ゲートボール場	7/31~8/28
甲佐町	旧 白旗グラウンド	7/30~8/21
芦北町	岩崎グラウンド駐車場、計石公民館先空地	7/29~未定
西原村	村民グラウンド西側	7/30~8/7



宇城市 旧豊野小仮置場
(2026/8/8 JESCO撮影)

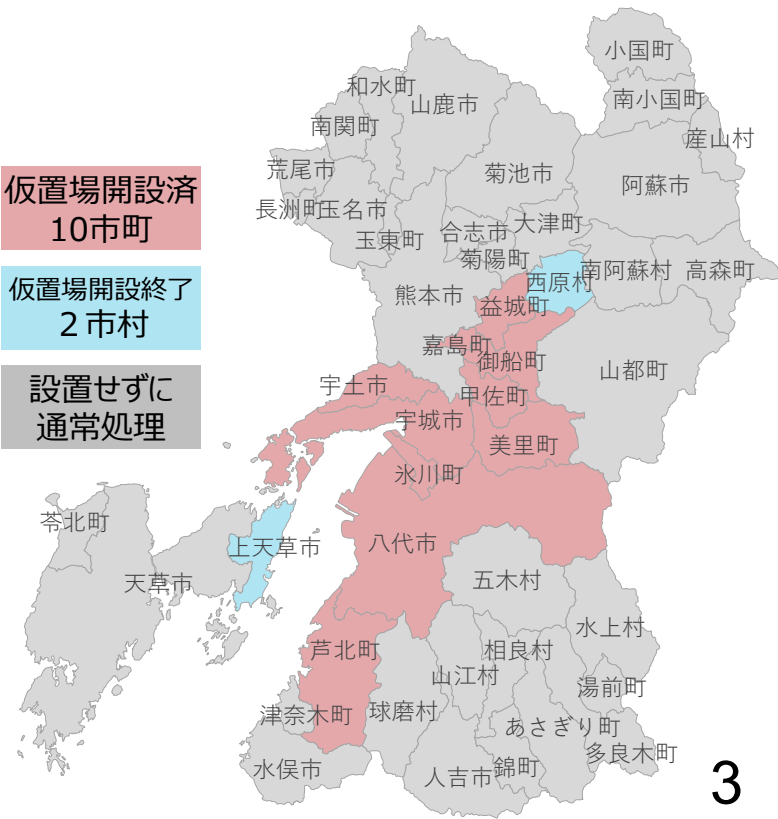


八代市水処理センター西側仮置場
(2026/8/4 JESCO撮影)

仮置場開設済
10市町

仮置場開設終了
2市村

設置せずに
通常処理



※公表中の仮置場に限る

災害廃棄物処理に係る最近の状況

8/10、災害廃棄物処理に係る補助金説明会を開催
(被災市町村向け)



8/12より、北九州市がごみ収集車2台を支援
その後、岡山市、松山市、大牟田市、佐伯市、佐世保市、
佐賀市が順次応援



8/17、八代市、氷川町にて、緊急公費解体・撤去を実施
二次被害の恐れや、周辺的生活環境への影響が見込まれる建物について、自治体による緊急的な公費解体を実施

